

UR<sub>で</sub>

NT

あ〜る♡

旦那に  
バシちやったあ!!

UR  
シリーズ4作目



R18

成年向け  
漫画











オナニーしてた  
僕って一体……!

それに興奮して……!



いない……  
もう終わったのか  
……?



!?

ビーン

アッ



ふ……ぞげやがっ……

ザマイマイ

いや……  
奥でまだやっ  
てやがる……

あ……



はい……すぐ  
うかがいます……

すみません……  
今そちらに向かっ  
ているところ……



あ、  
もしも……

取引先から……  
しまった……  
アポ忘れてた……



頭の中は  
ぐちゃぐちゃだった

ハイ  
キーン

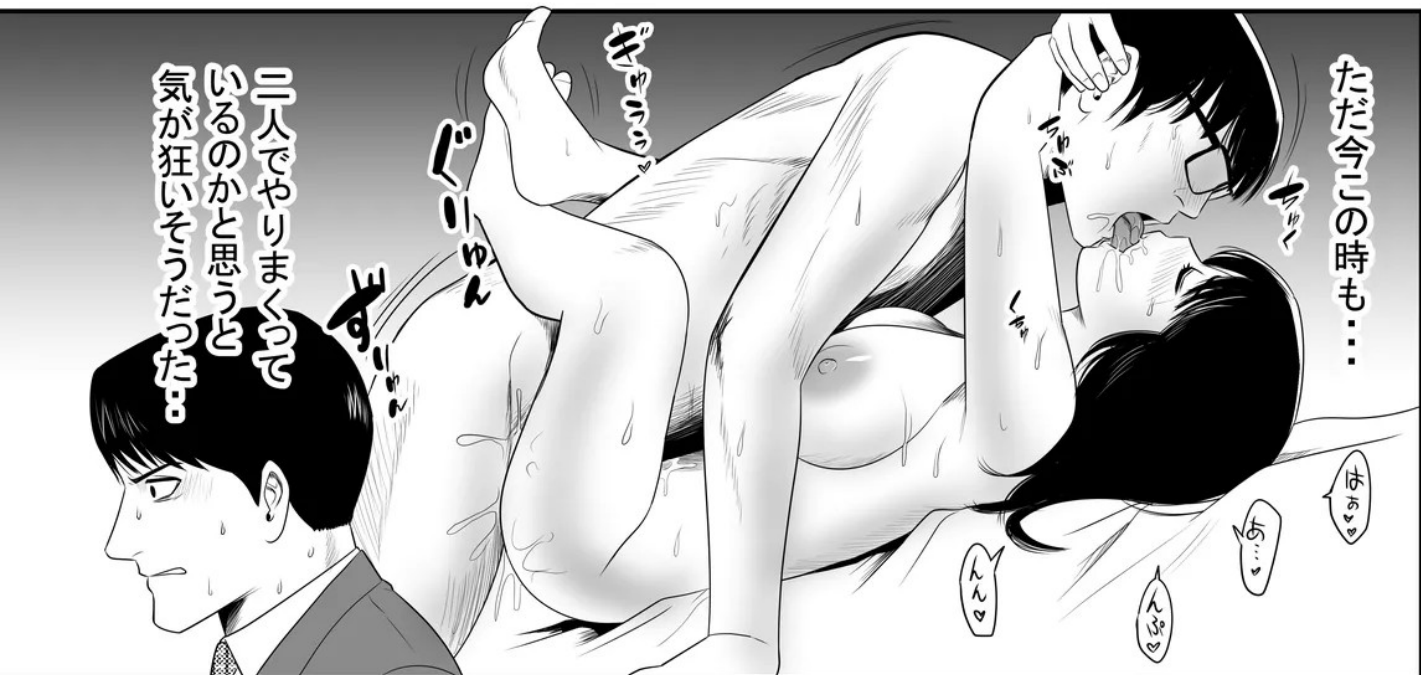
即座に怒鳴り込んで  
やれば良かったの  
だろうか...



結局僕は  
その場を離れた

怒りと悲しみで  
どうしていいか  
わからなかった  
からだ

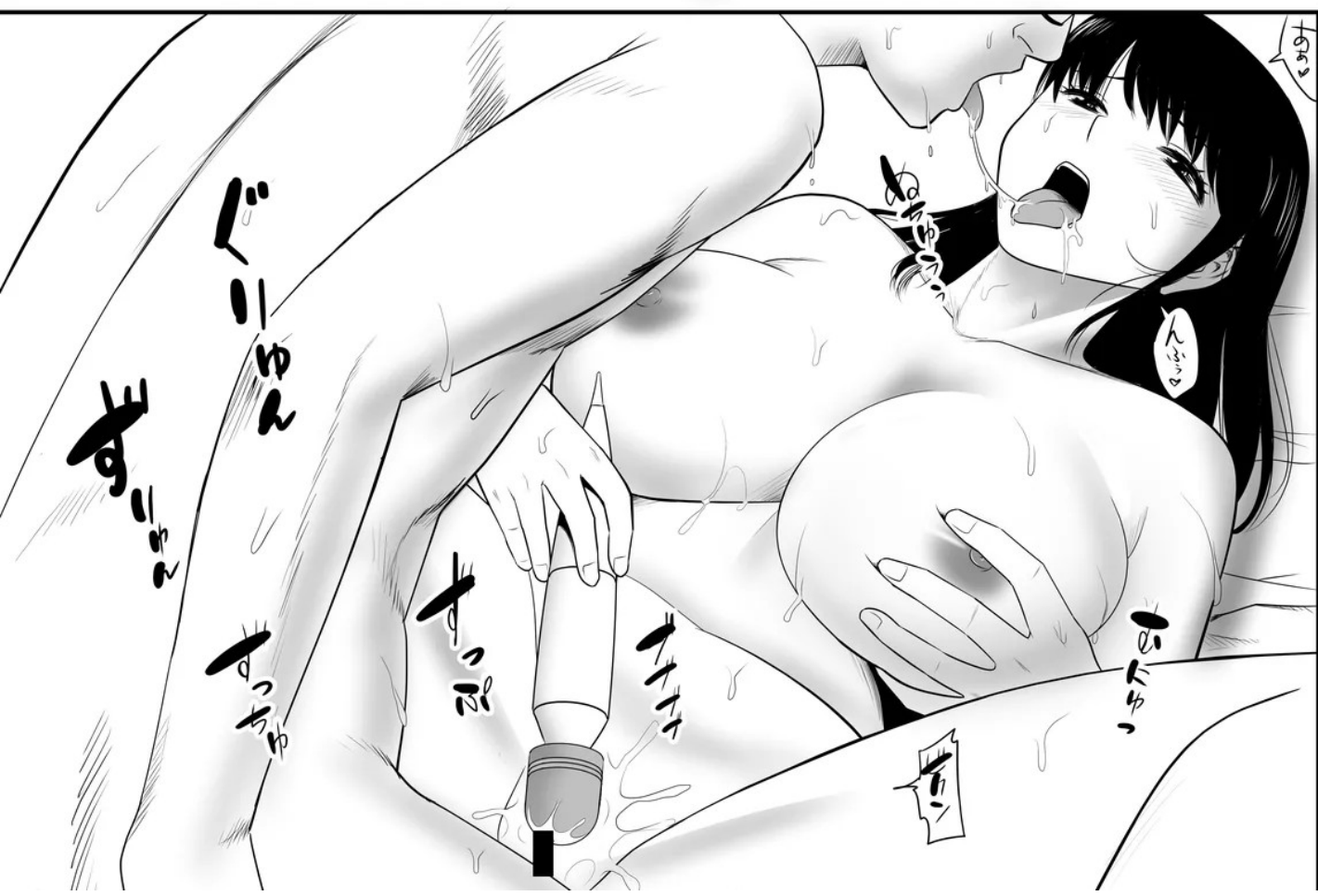
仕事の電話を言い訳に  
したのかもじれない



ただ今この時も...

二人でやりまくって  
いるのかと思うと  
気が狂いそうだった

グニーン  
グニーン



グニーン  
グニーン

グニーン  
グニーン

グニーン  
グニーン

グニーン  
グニーン

グニーン  
グニーン



この変態女め！  
マンコとクリと  
どっちでイクんだ？

ああ…  
どっちもイイのお…！  
イツキ…そ…！

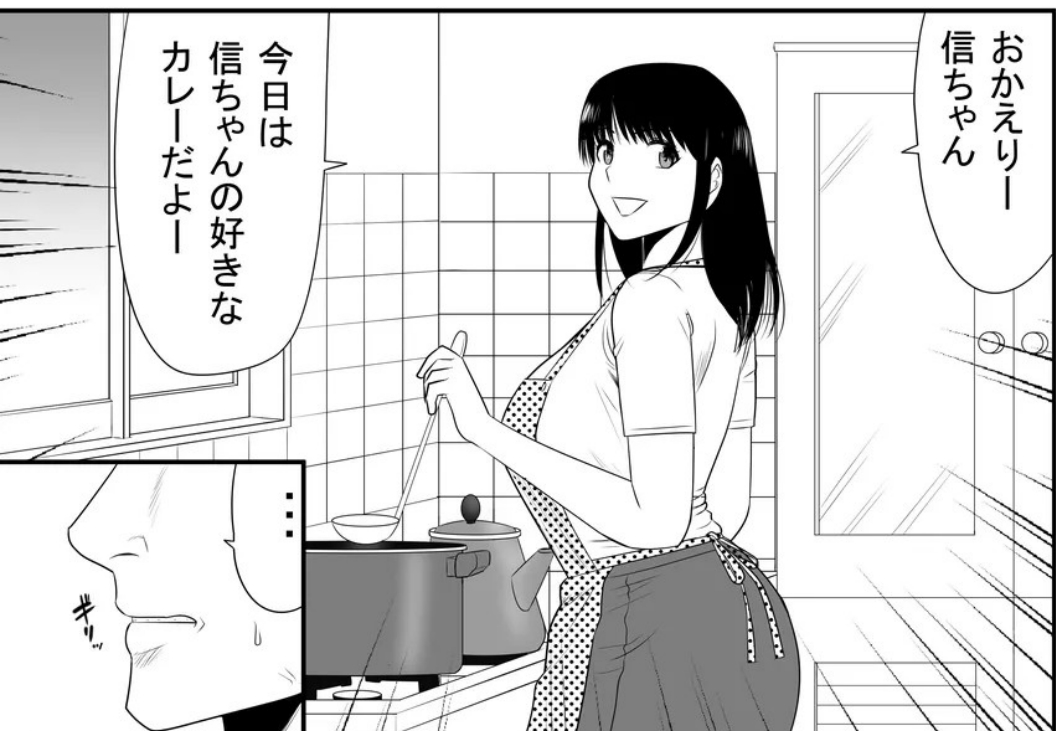


おら自分で  
イクマンコ  
見ろお！

イツク  
うっうっう…！

きやっ…

あ、ああ  
すみません…





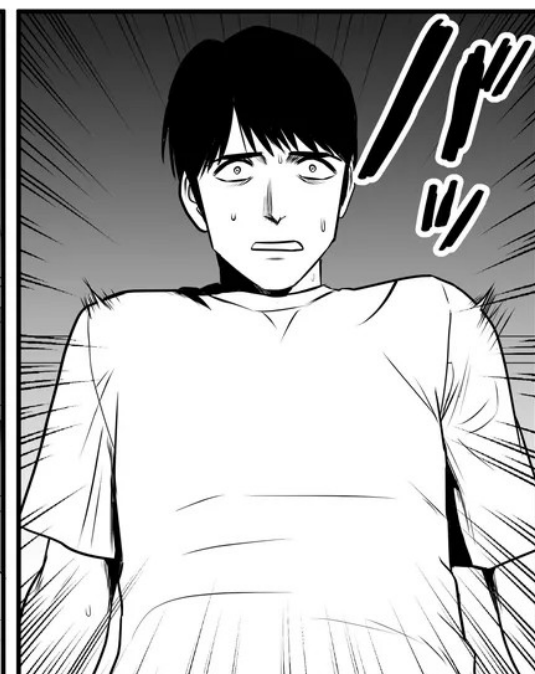


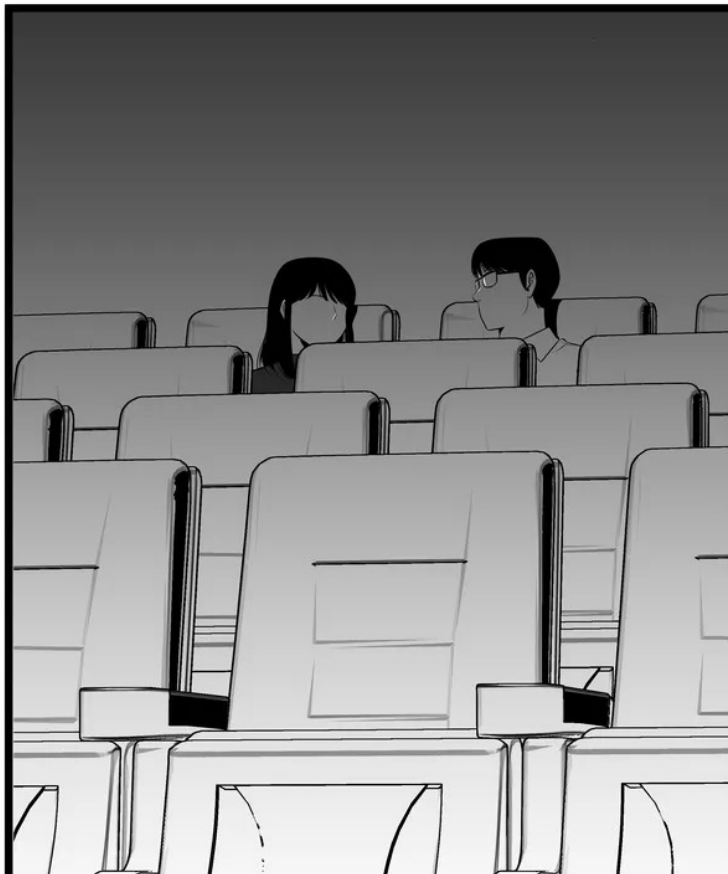
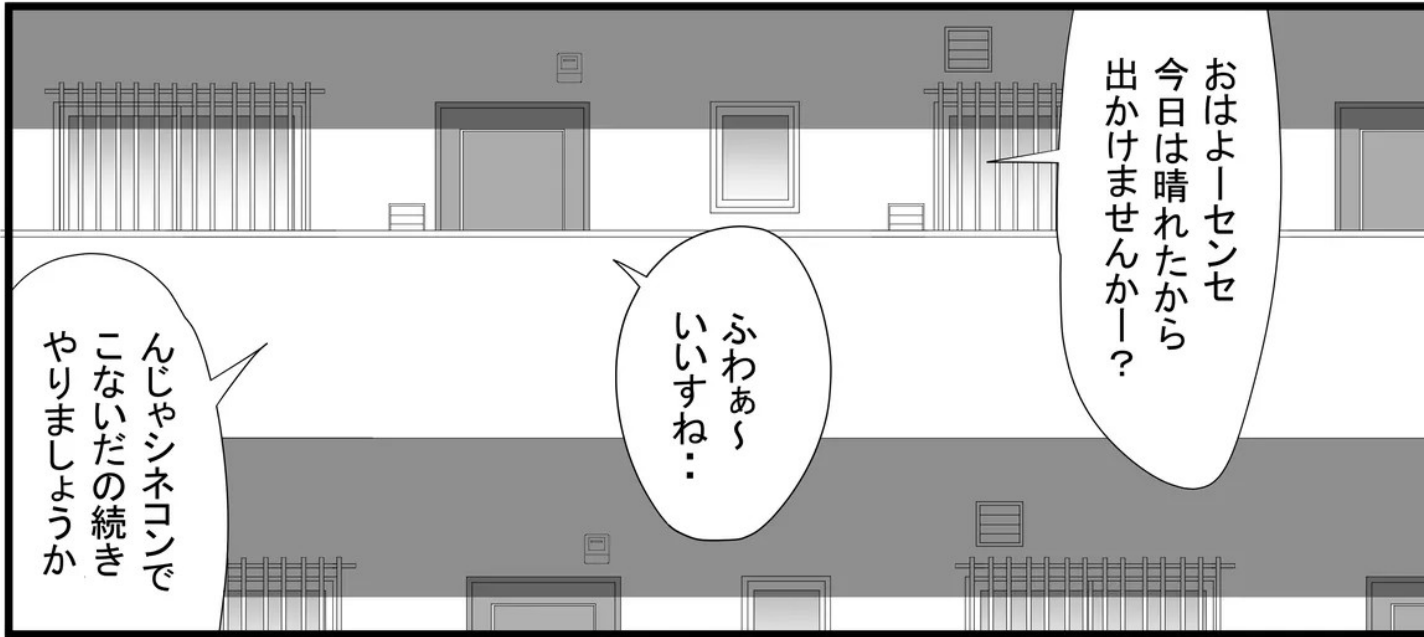
気持ち  
はあ  
の  
時  
の  
ま  
ま  
……



それは結婚して  
3年  
た  
っ  
た  
今  
で  
も  
……

高校時代に初めて  
付き合っ  
たあ  
の  
日  
か  
ら  
僕  
は  
彩  
の  
と  
り  
こ  
だ  
っ  
た



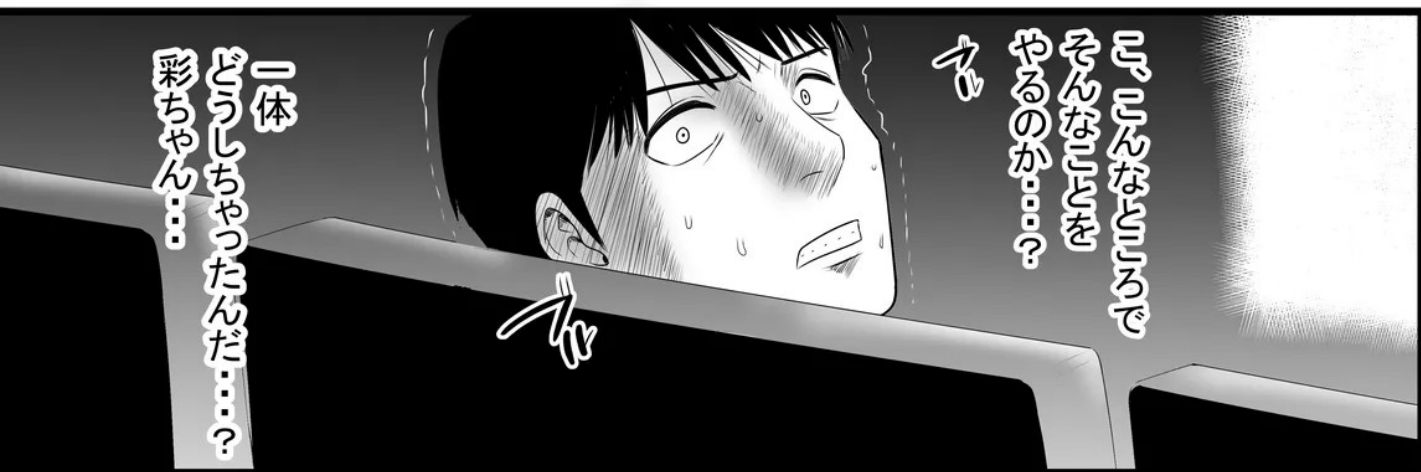




うふふ  
感じちやう♡



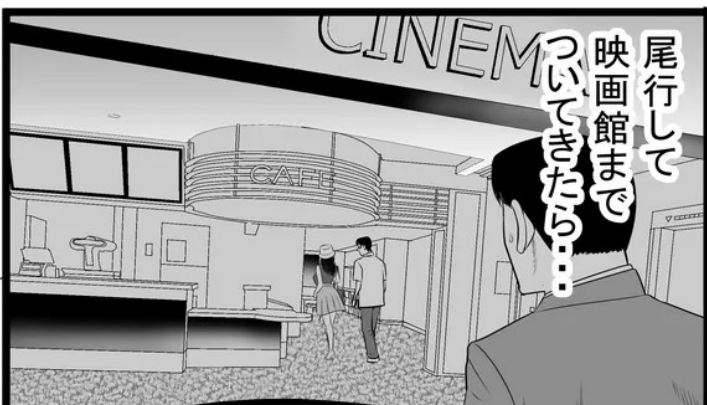
ねえセンス…さすがにここでオッパイ出すのは…



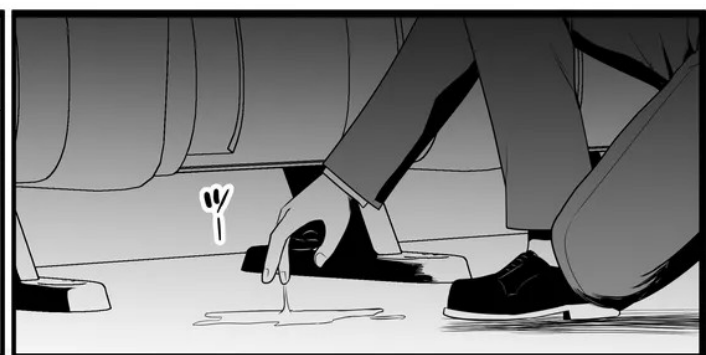
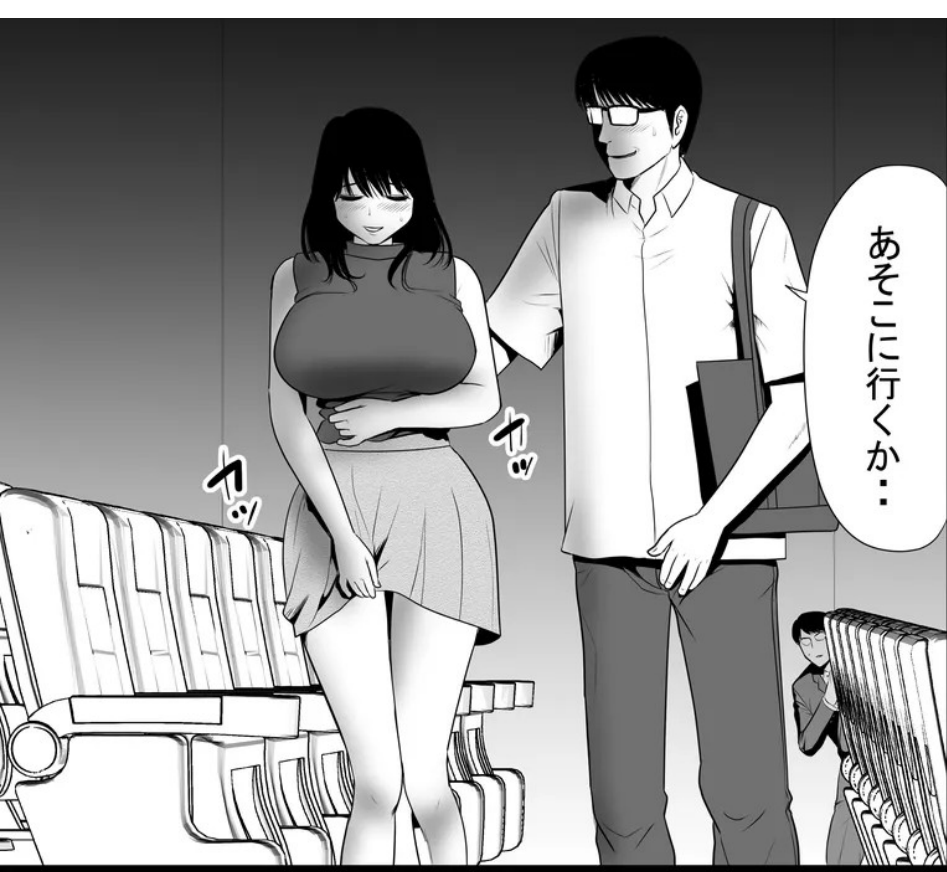
一体どうしちゃったんだ…？彩ちゃん…



まさかこんな異常なものを見せられることになるとは…！！













本当の妻はドMの  
露出狂なのだ

だからと言って  
どうすればいいか  
わからなかったし

毎日尾行が  
できるわけもない



僕は今迄  
妻に嫌われまいと  
とにかく優しく  
接していた

その接し方は間違っ  
ていたのだろうか…



今こうしている  
間にも妻は…

何事もなかったように  
会社に通っていたが



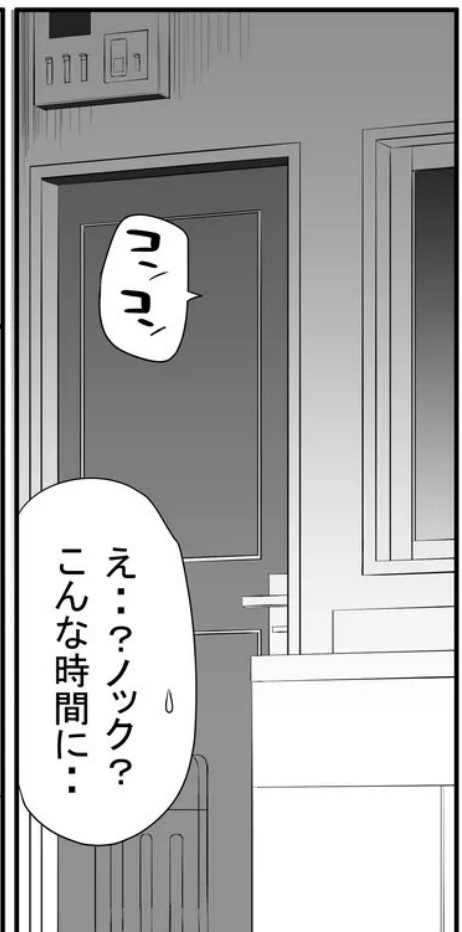
何も解決しない  
まま一週間が  
過ぎた

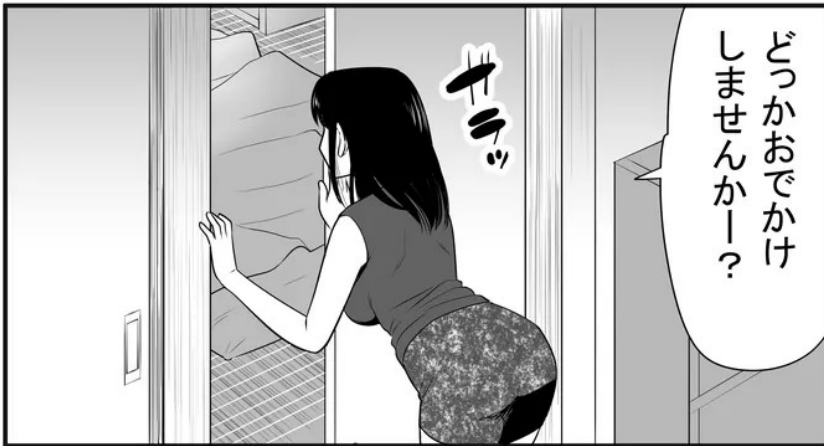
この気持ちを  
抑えるには  
どうすれば  
いいのか…

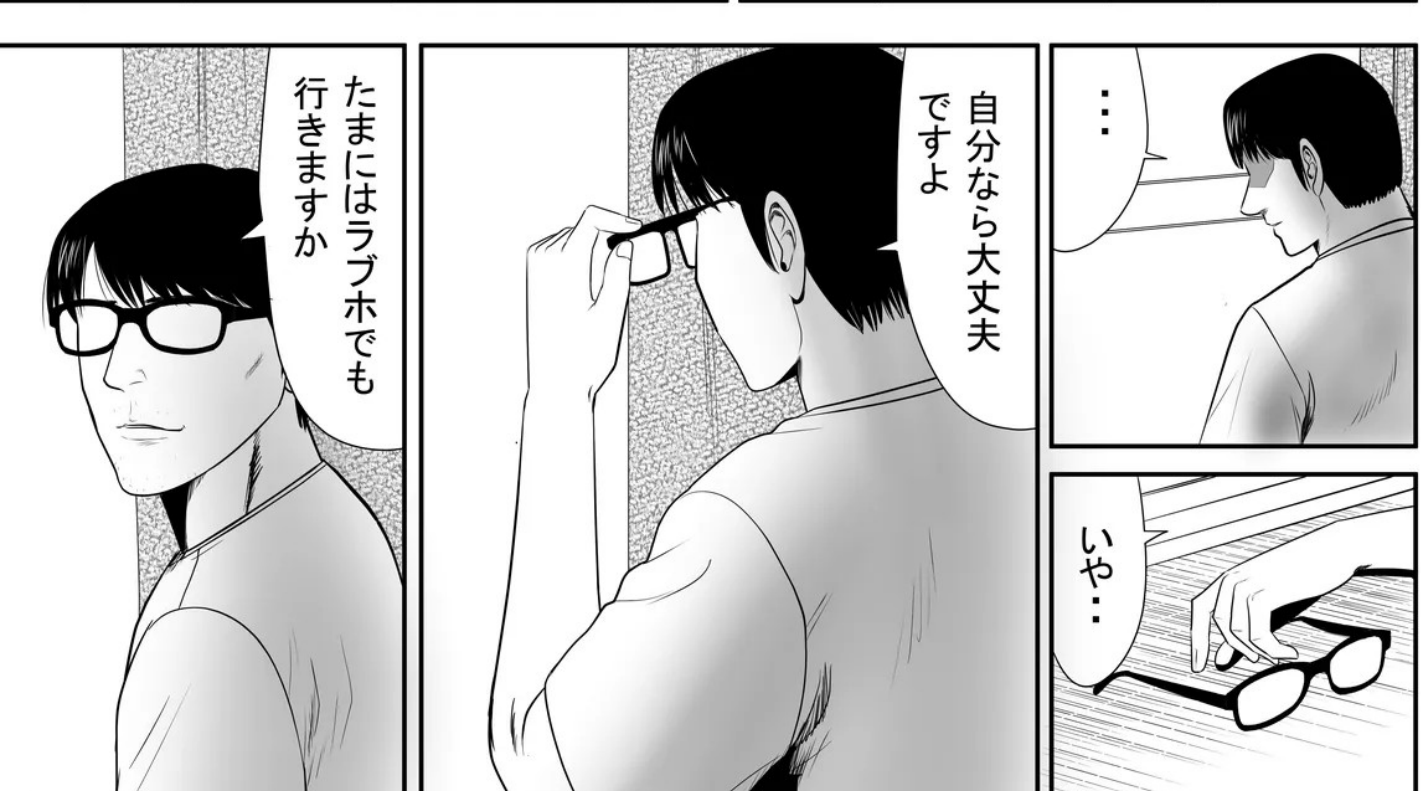
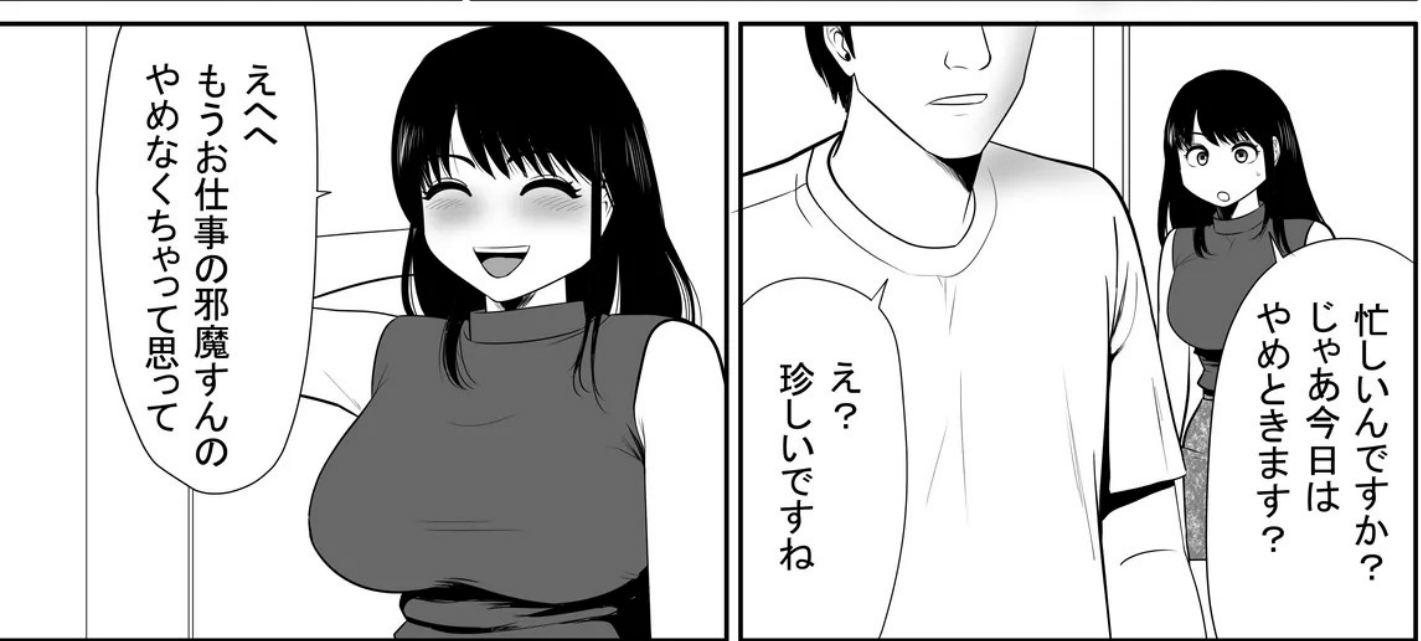
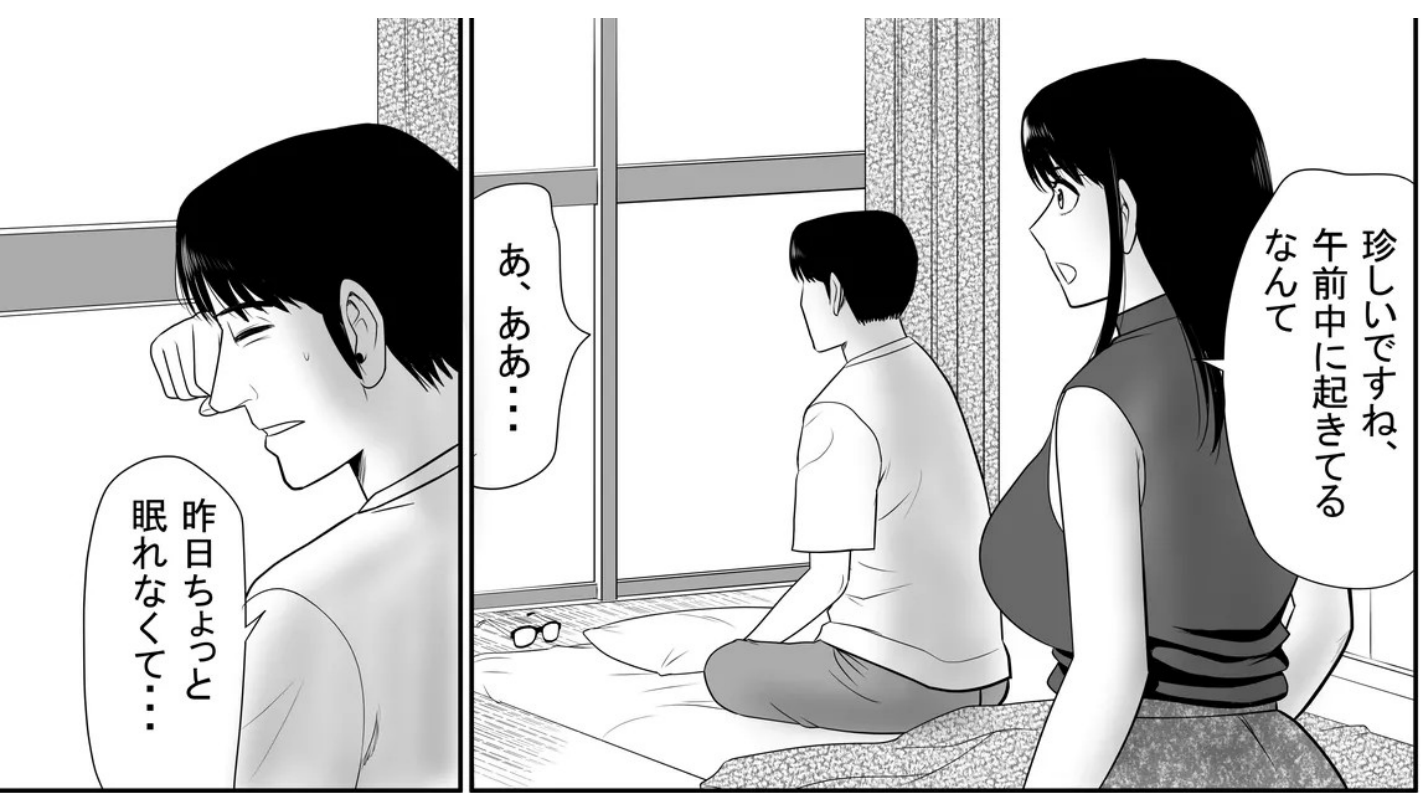


おい、顔色悪いぞ  
大丈夫か？

あ…  
大丈夫です…









わあーすごいー！

全面  
鏡張りですよー



ちよ...



ちよっとーセンセ  
携帯やめて  
くださいよー

ああすいません  
ちよっと仕事の  
メールを...



おっぱい  
たはは

おっぱい  
たはは



いやらしく  
脱ぐところを  
見せてください

んもう♡



恥ずかしい  
けどお...

いやらしい  
下着ですね

うふふ、こいつの  
センセ好きだと思って  
通販で買った♡

こんなのエッチなの  
見せませんよ  
びっくりされるもん

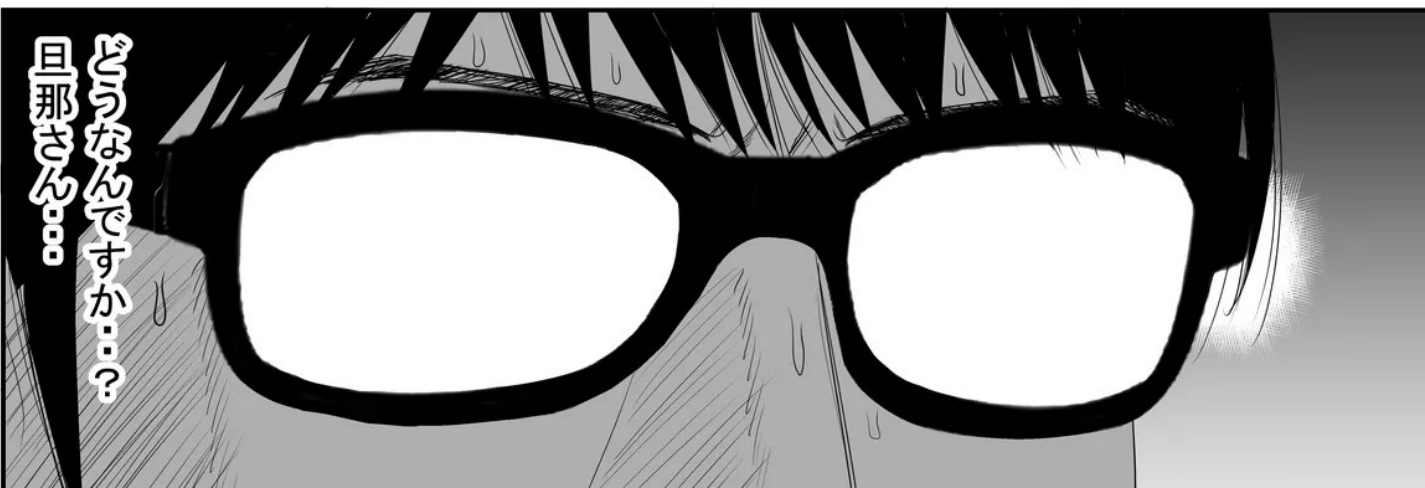
ダンナは知ってる  
んですか？それ

ふふ：  
旦那も知らない  
エロ下着か？

どうする……？  
旦那に見られ  
たら？

ええー……？それは  
困っちゃうなあ……

でもお……





どんな気持ちで  
今これを見  
てるんだ!?



旦那がウチに訪れた  
時はぶん殴られる  
のかと思った

昨夜...



だから彼が発した  
第二声に...

その表情で全て  
バレているとシムシムとは  
明白だったからだ





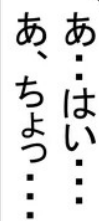
なぜ  
奥さんと俺の関係を  
やめさせるのではなく  
こんな手の込んだことを  
するのか、を聞きたかった  
のだが…



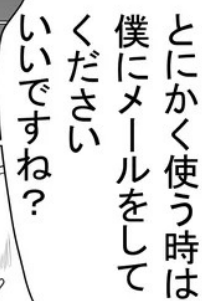
バァン



あ…はい…  
あ、ちよっ…



とにかく使う時は  
僕にメールをして  
ください  
いいですね？



正直俺は  
ためらった  
好きになつてしまった  
奥さんを騙すような  
真似だからだ



想像するに  
理屈じゃないのだろう  
多分見たくて  
しょうがないのだ



自分の愛した  
妻が  
他の男に  
寝取られる姿を…

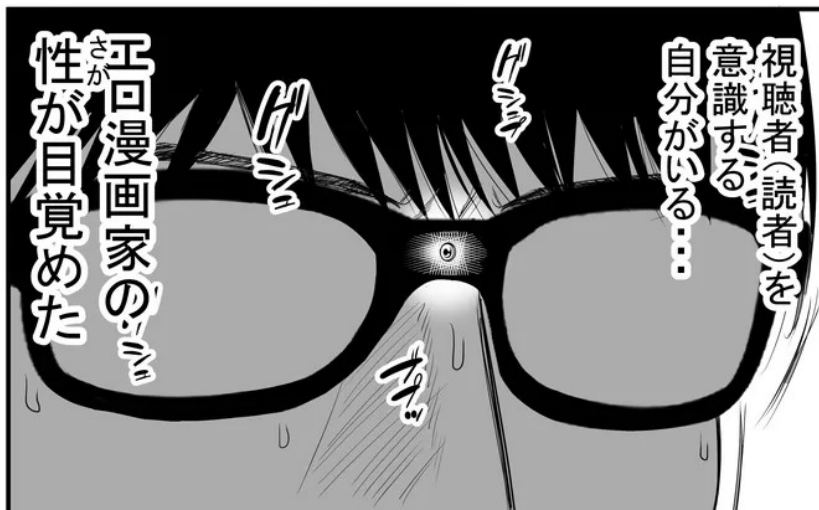


おそろくだが  
今これを  
見ている旦那さんは…



だが…少し  
冷静になって  
考えてみた  
今日那は  
どんな感情なのか…







あふぅ...!!

それ、  
もつと  
シコれえ!

ぐんぐん



乳首がハイハイ  
千切れるくらい  
噛んでるのに  
感じてる...??



ああ  
センセのお...

僕はずっとそれを  
守ってきたのに...

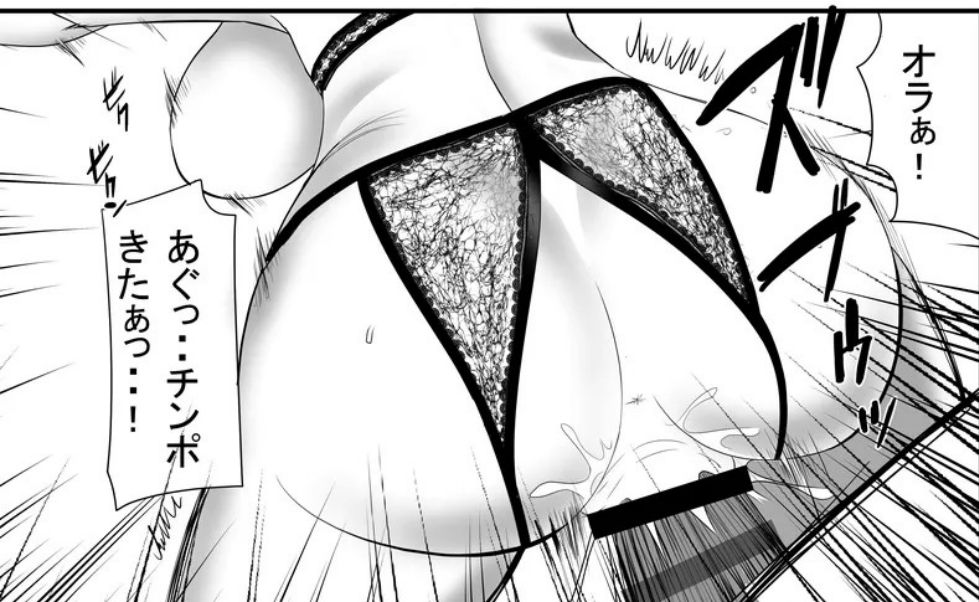
初めての夜、  
優しくしてって  
言ったから...

ほら何が  
欲しいんだ?  
言ってみろ



そうになると  
考えることは  
ひとつ...

旦那  
読者にもつと  
抜けるシーン  
シコリテイを!



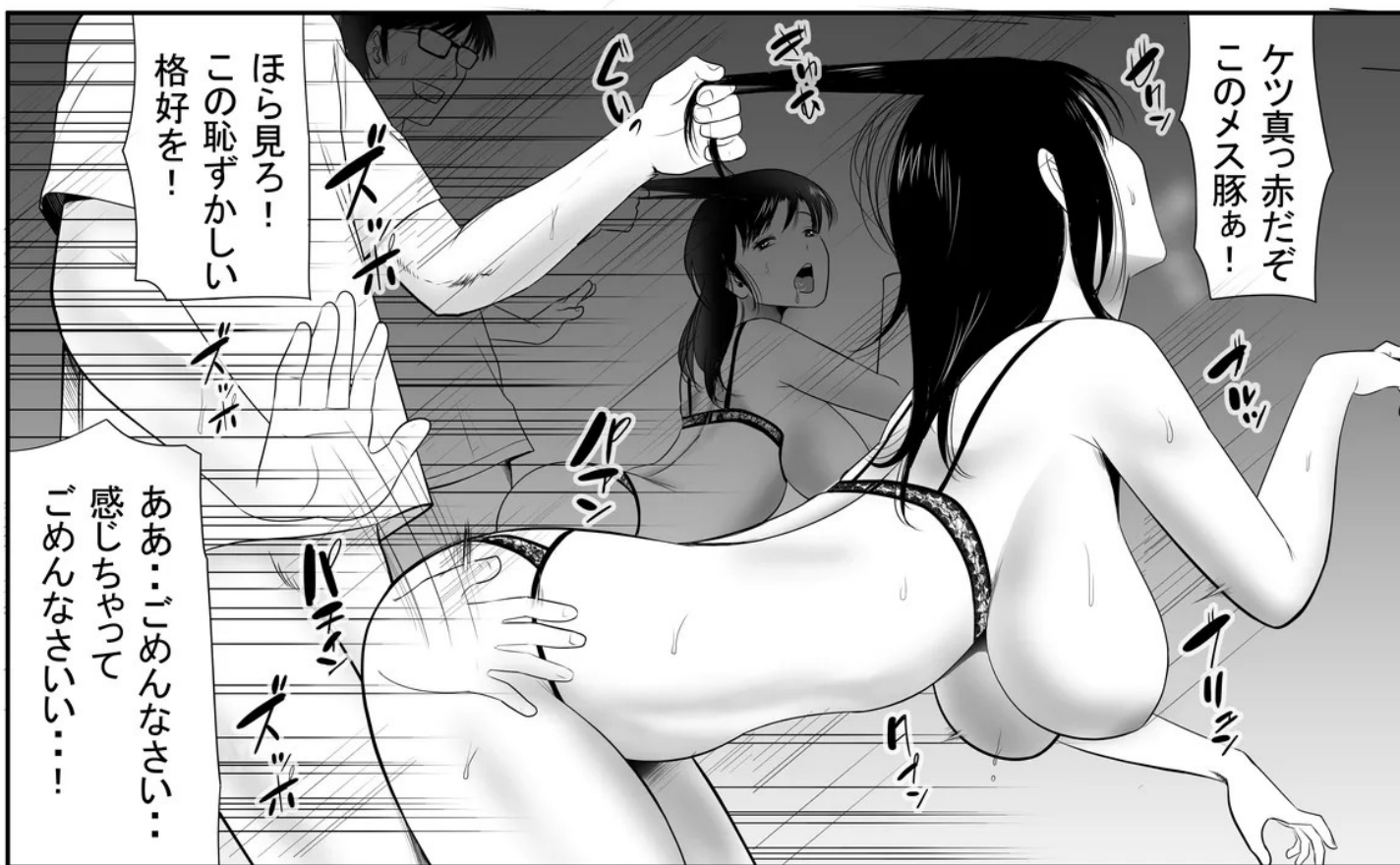
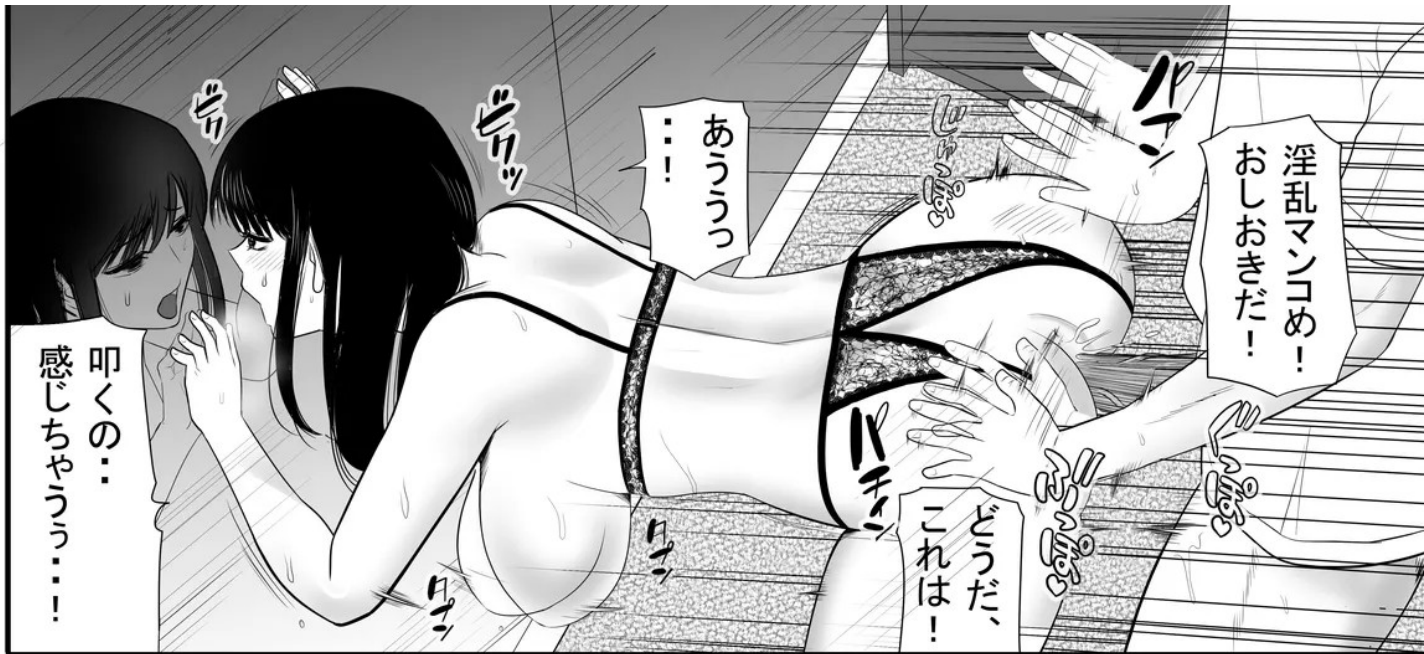
あぐっ...チンポ  
きたあつ...!!

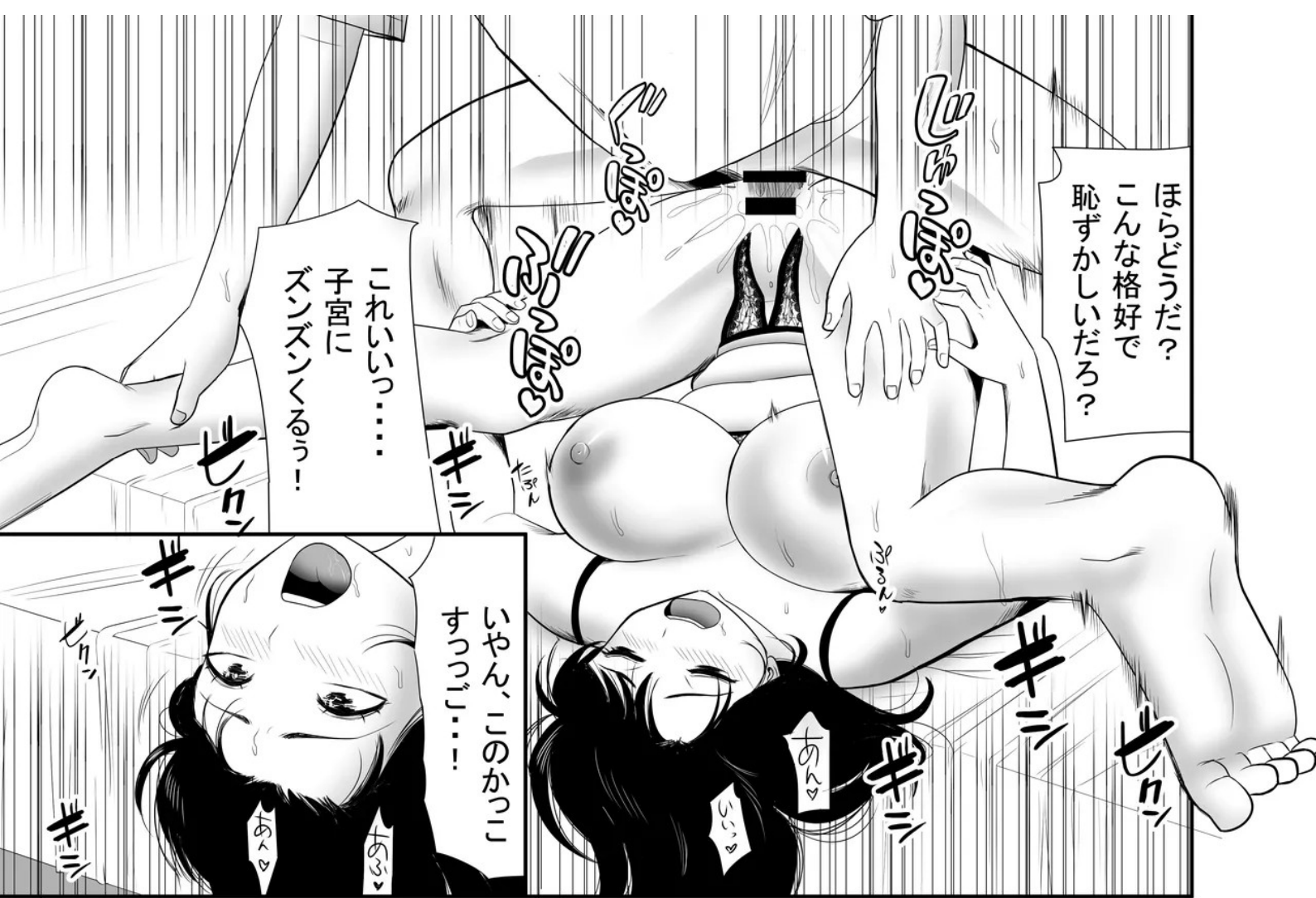
オラあ!



ぶっついチンポで  
マンコぶっ壊してえ!



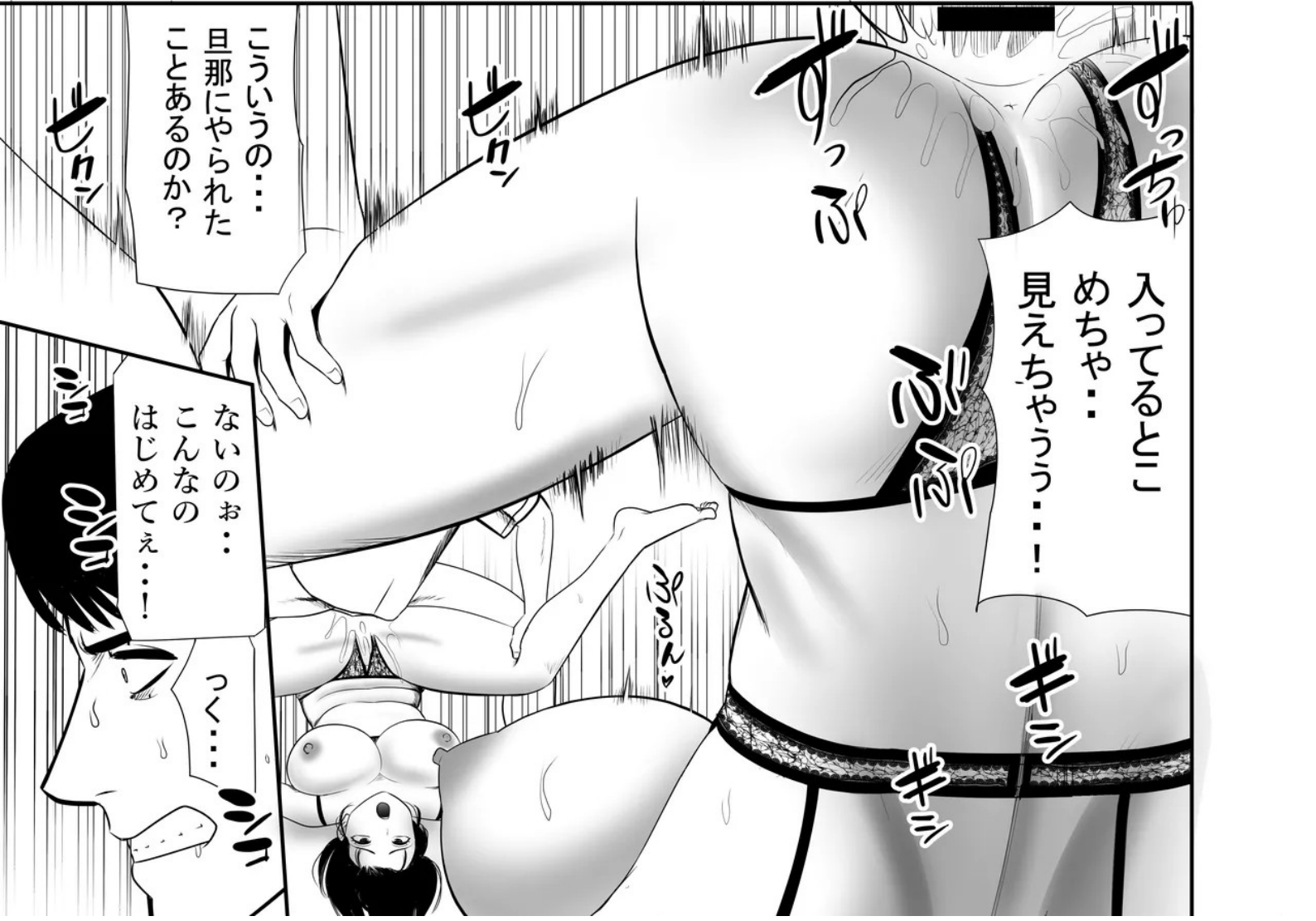




ほらどうだ？  
こんな格好で  
恥ずかしいだろ？

これいっしょ……  
子宮に  
ズンズンくるうー！

いやん、「の」の「か」  
すっしょ……



入ってるよ！  
めっちゃ・  
見えちゃううー……！！

「の」の……  
旦那にやられた  
ことあるのか？

ないのお……  
こんなの  
はじめてえ……！！







一番の  
抜きどころ  
だぞぞぞ!

ジュジュ

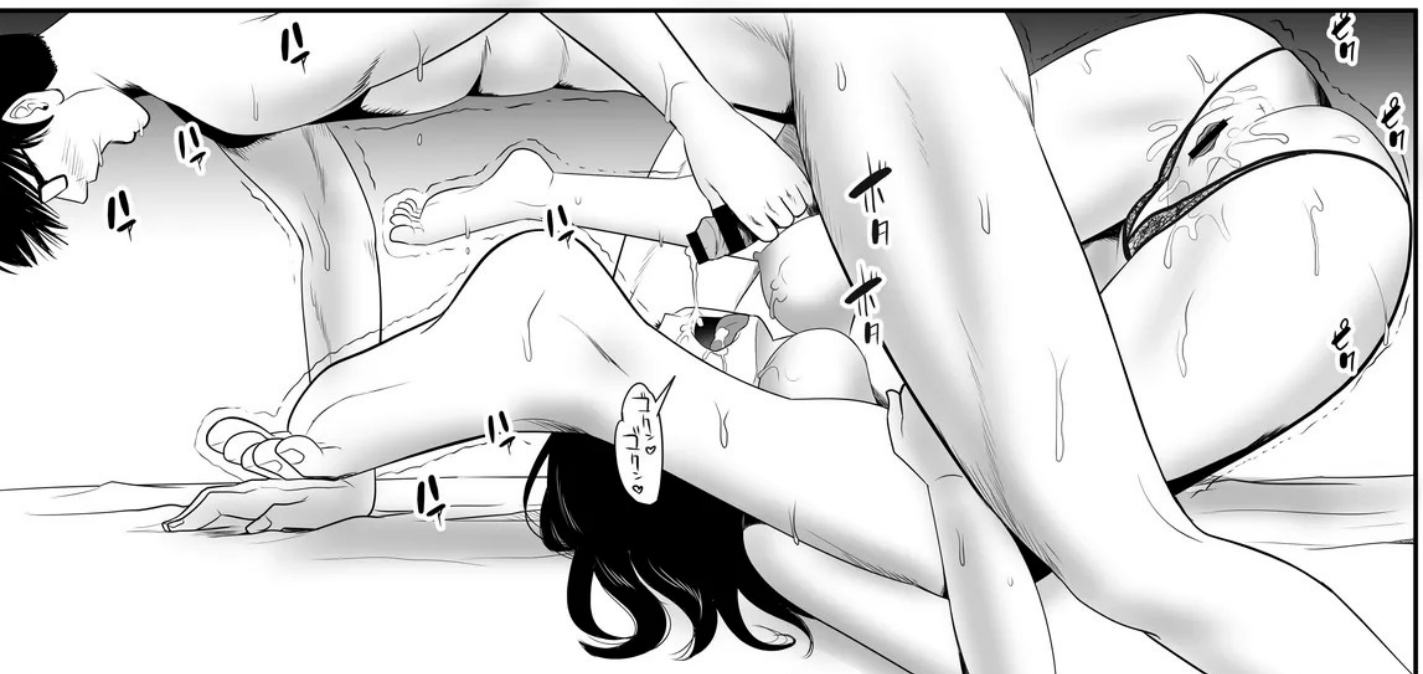
ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ





あはっ…

ざあめん  
おいひい…



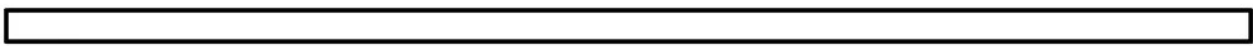
その後旦那からは特に  
クレームもなかったので

きつとある意味  
満足させられたのでは  
なかったかと思ってる



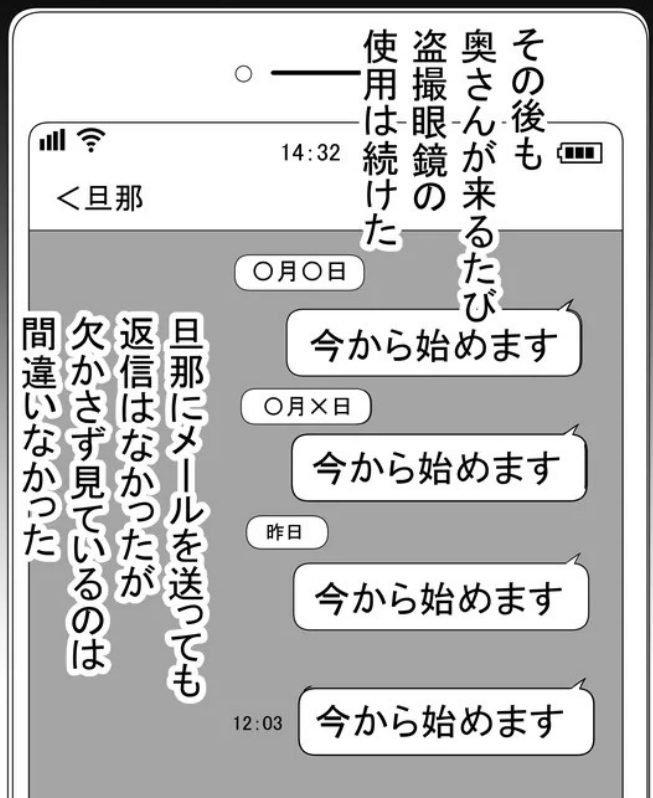
はあ…はあ…

つい興に乗って  
旦那を煽るセリフを  
吐いたのでちよっと  
心配になったが…



創作者として  
使命感すら感じた  
たぶん

読者(視聴者)がいると  
作品作りの  
モチベーションも  
上がる。  
ヒツキ  
たぶん



その後も  
奥さんが来るたび  
盗撮眼鏡の  
使用は続けた

今から始めます

今から始めます

今から始めます

今から始めます

旦那にメールを送っても  
返信はなかったが  
欠かさず見ているのは  
間違いなかった

12:03

どういふ絵面が  
より抜けるかを  
考えながら  
励んだ

時には眼鏡を  
外して置いて

この角度は  
どうかな？

引いた絵で  
変化をつけたりして

より抜ける  
画角で撮影する  
工夫もした

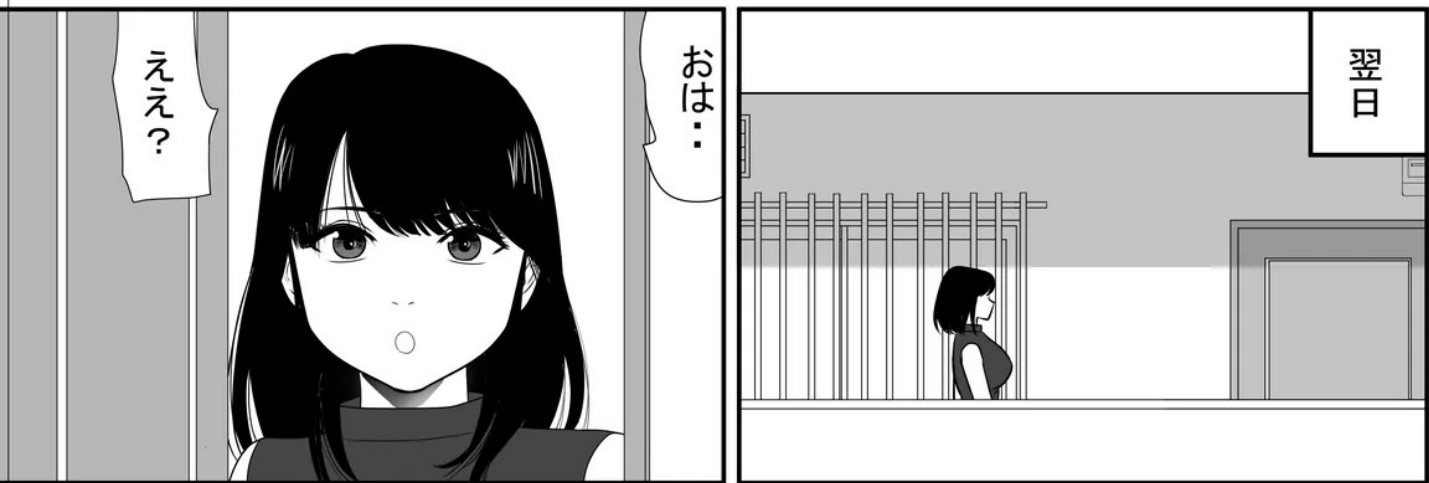






相談があるんですが...

ちよつと...



翌日

おは...

ええ?



珍しいですねセンセ  
午前中から  
起きてるなんてー

まあ：  
そういう日も  
ありますよ...  
ところで...

今日は出かけず  
家で...

こういのの  
使ってみま  
しょうよ

ま♡







昨夜旦那から  
提案されたのは  
これだった

ねえセンセ  
どしているの？  
焦らさないで  
早くう…



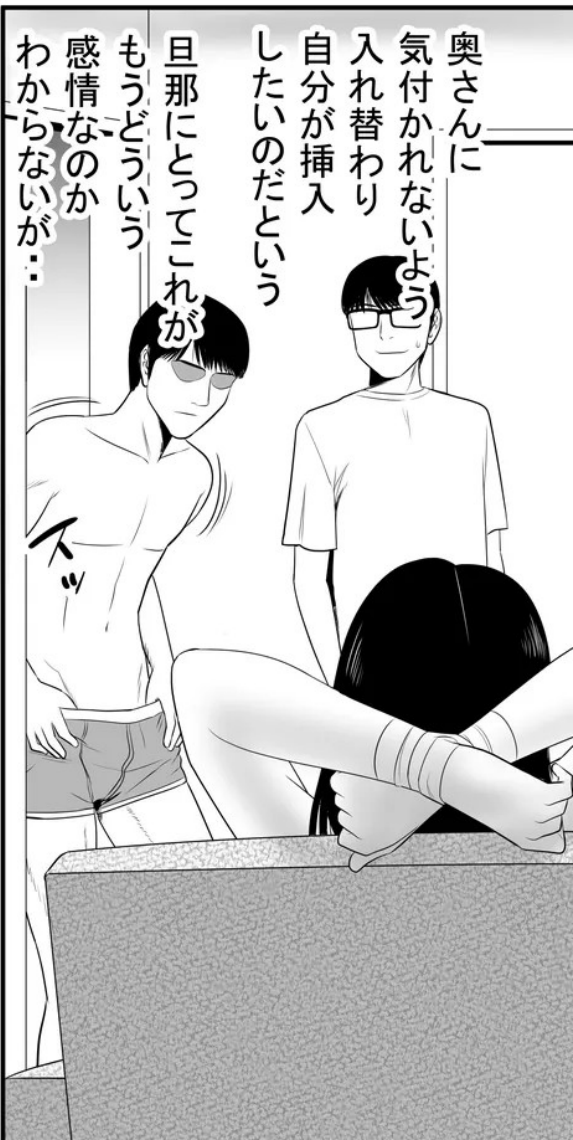
スウ



あつ♡  
きたあ…  
早く  
入れ…



エロ漫画家でも  
思いつかない  
発想に興奮し  
思わず了承  
してしまった



奥さんに  
気付かれないよう  
入れ替わり  
自分が挿入  
したいのだという

旦那にとってこれが  
もうどういう  
感情なのか  
わからないが…





どうだ？  
チンポ嬉しいか？

旦那さん…  
凄い勢いだな…

センセ…  
今日なんか…  
あふつ…！！



あ…だめ…  
イっちやうっ…！！

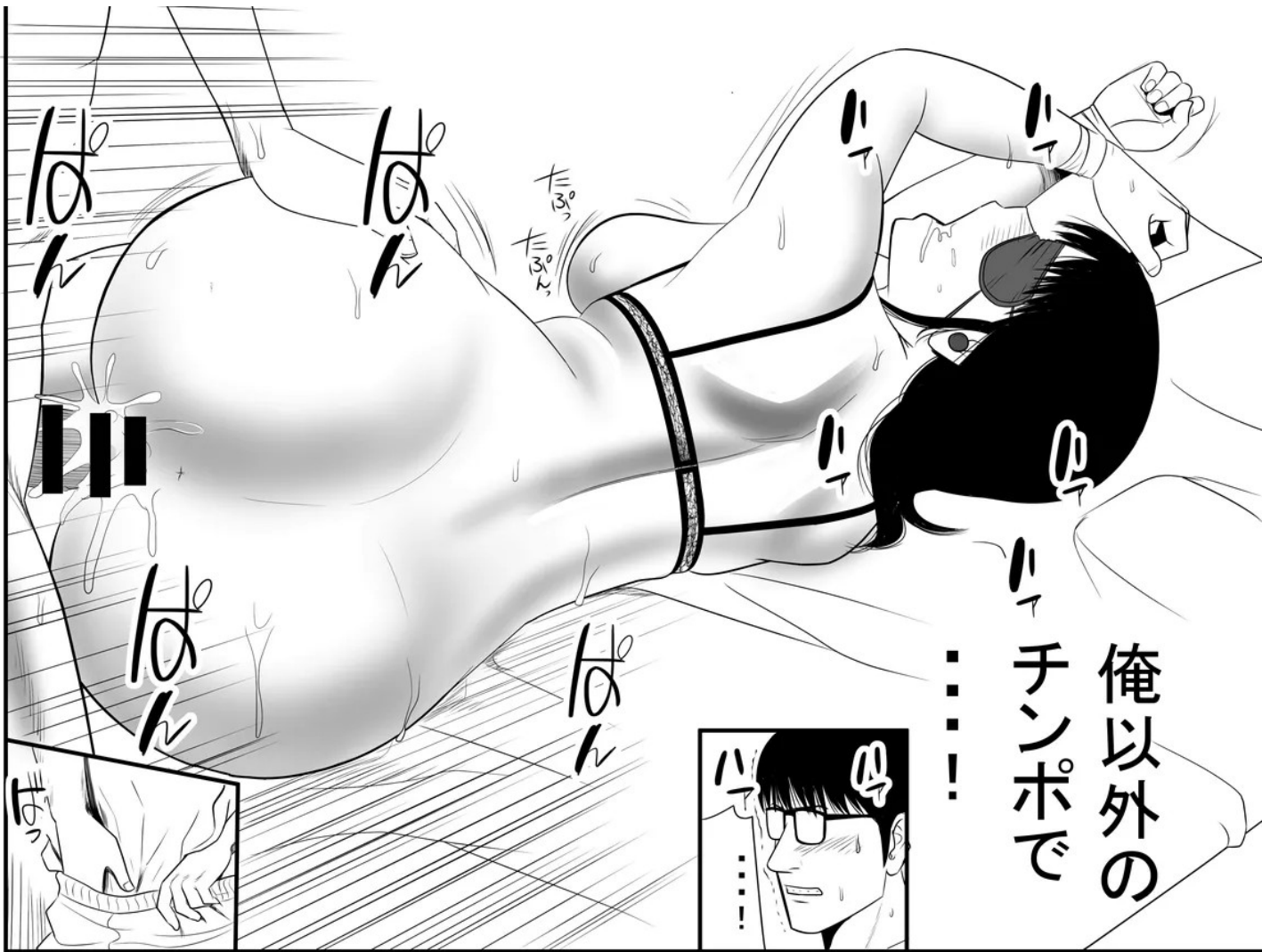


なんかセンセ…  
いつもより固くて  
おっきくない…？

すいっ  
いの…！！

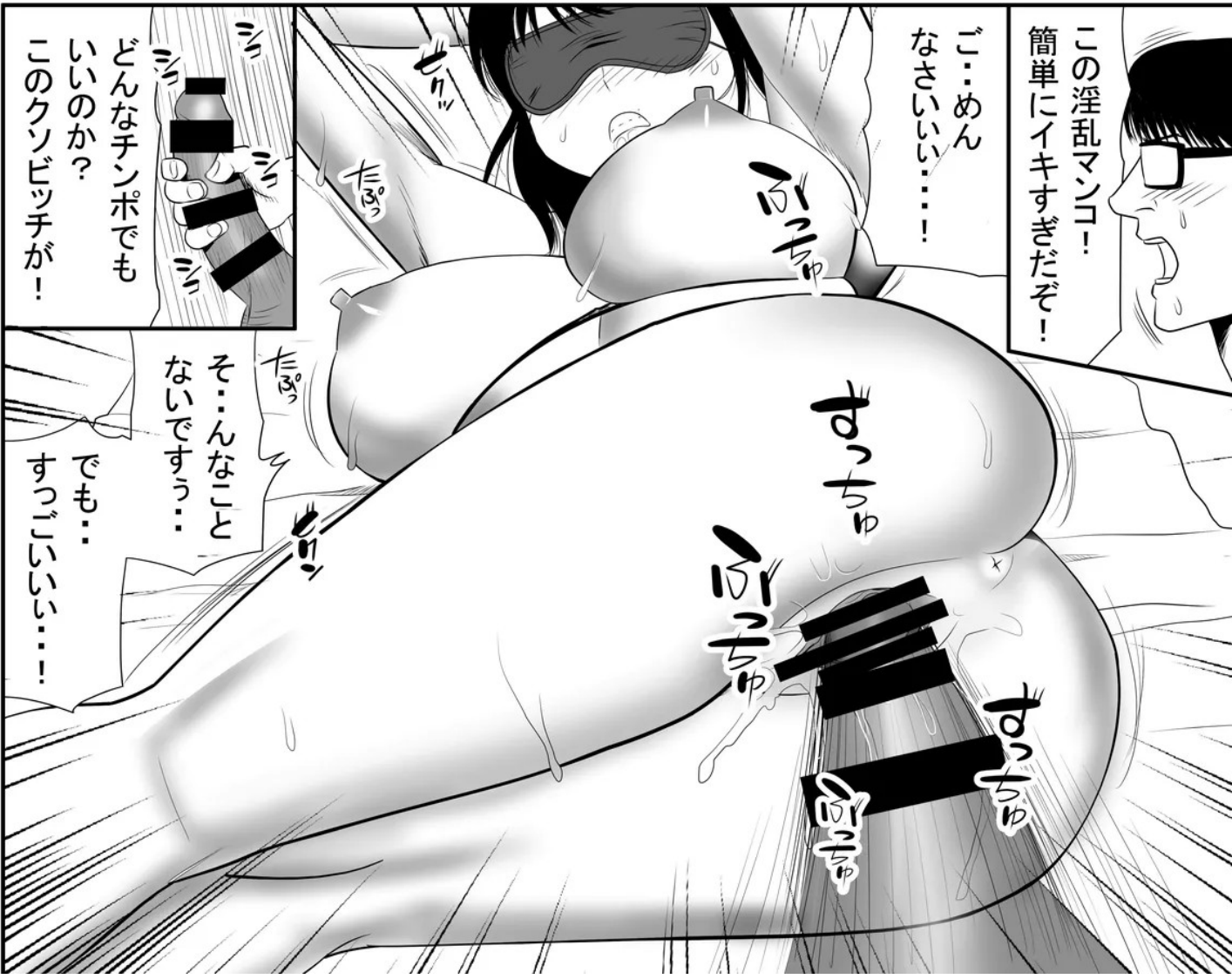






俺以外の  
チンポで

.....



この淫乱マンコ！  
簡単にイキすぎだぞ！

ごめん  
なやんご...

どんなチンポでも  
いいのか？  
このクソビッチが！

そ...んなこと  
ないですう...  
でも...  
すっ...いい...







今日すいじょ...  
センセ...  
奥・届くうっ...!

SSN  
.....

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん



出て欲しいんだ  
.....?  
このまま...  
奥っ...

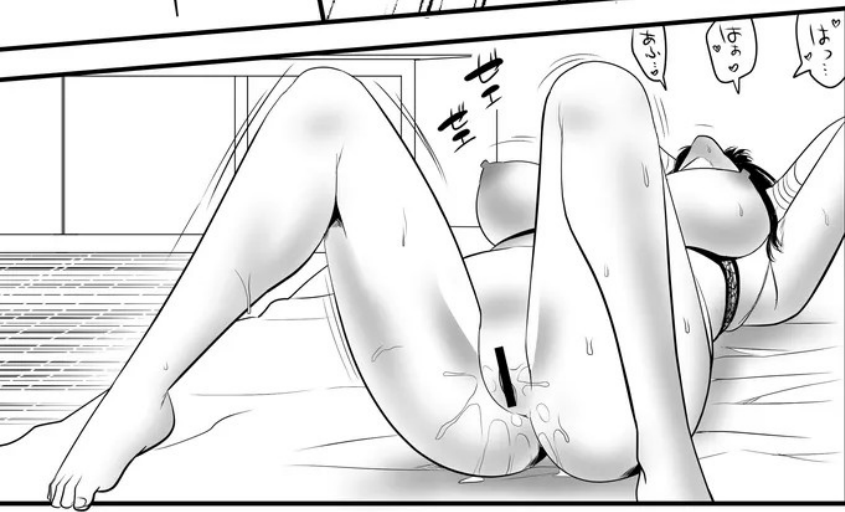
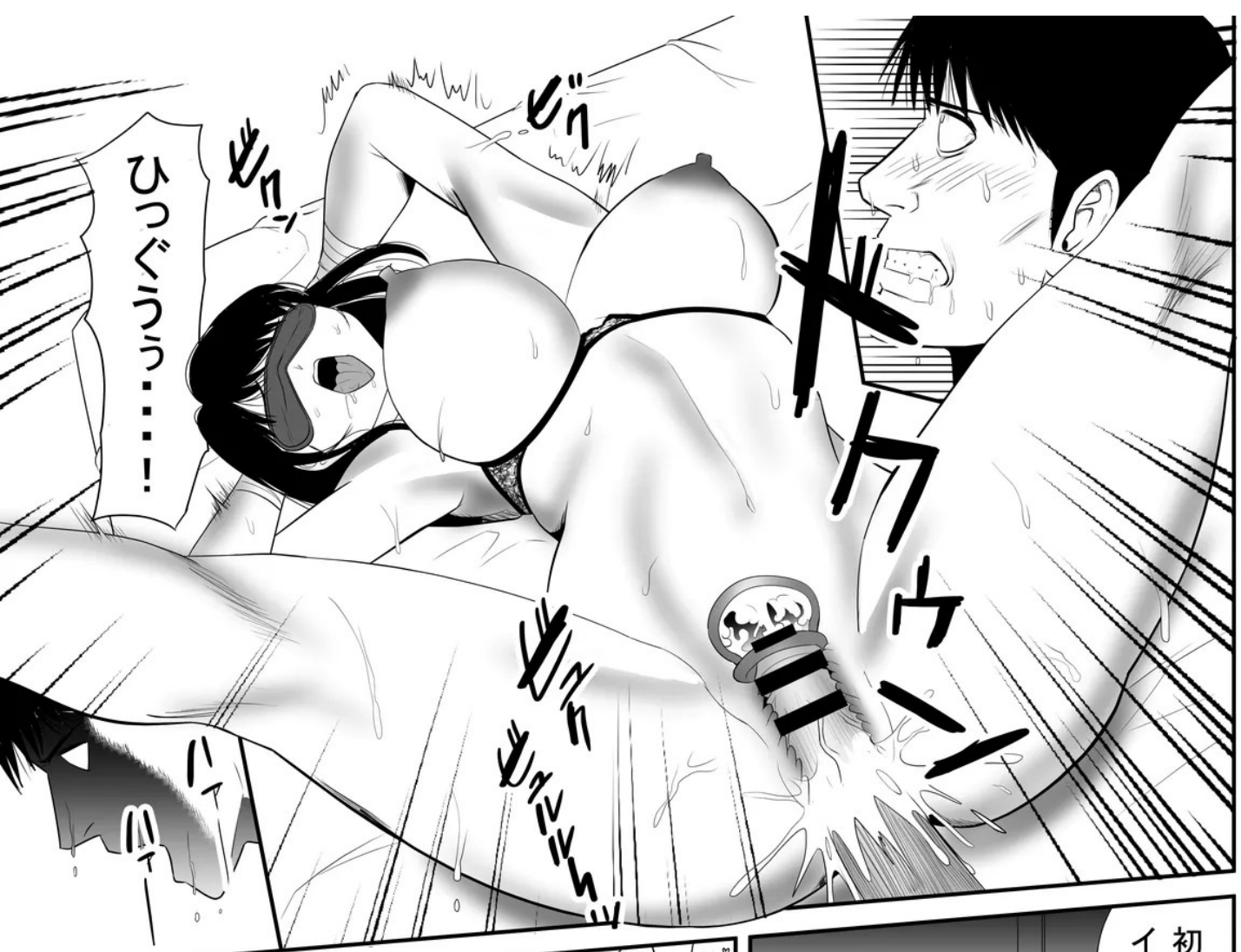
なかっ...

中に  
欲しいっ...!

グングン

グングン

グングン









はぐっ...!!

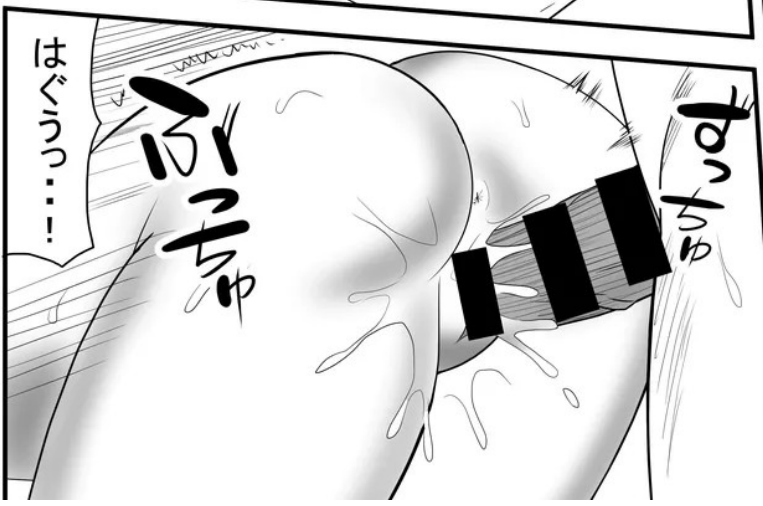
はぐっ



はぐっ...

はぐっ

はぐっ...



はぐっ...

はぐっ

はぐっ



はぐっ...

はぐっ...

はぐっ

はぐっ





ヒッグウウ……!!  
イッグ……



それでもシコる手は  
止められなかったのだが  
同時に悪い予感も  
していた



この提案に  
乗ったことを少し後悔  
していた

吹っ切れたように  
腰を振り続ける  
旦那を見て



その予感の通り

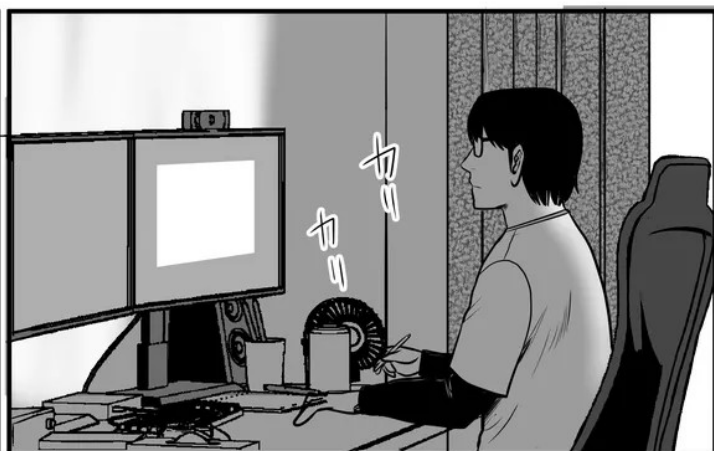
奥さんがウチに  
来ることは  
なくなつた



3  
か月後



カハル



カハ  
カハ



こちらこそ  
よろしく  
お願いします

あ、どうも  
ご丁寧な



隣に越してきた  
田中です

よろしく  
おねがいしますー

あの日翌日は  
土曜日だった

思えば

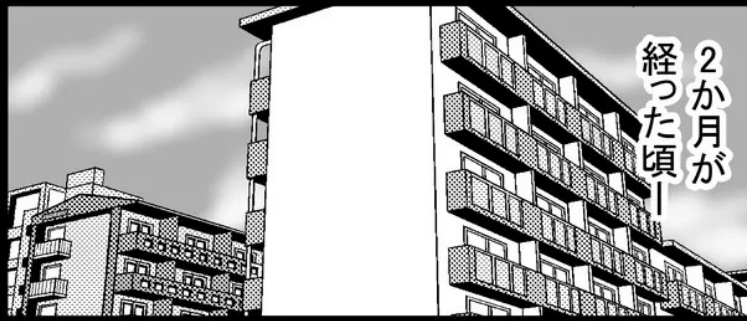


それまでは  
週末は夫婦で仲良く  
出かけるのが常だったので  
昼間からセックスして  
いたので驚いた

はっ...  
はっ...!

どうしたの?  
信ちゃん  
いつもと違う...

しかも前日の  
続きのような  
激しいプレイで。  
どうやら彼の中で  
何かが変化して  
しまったようだ

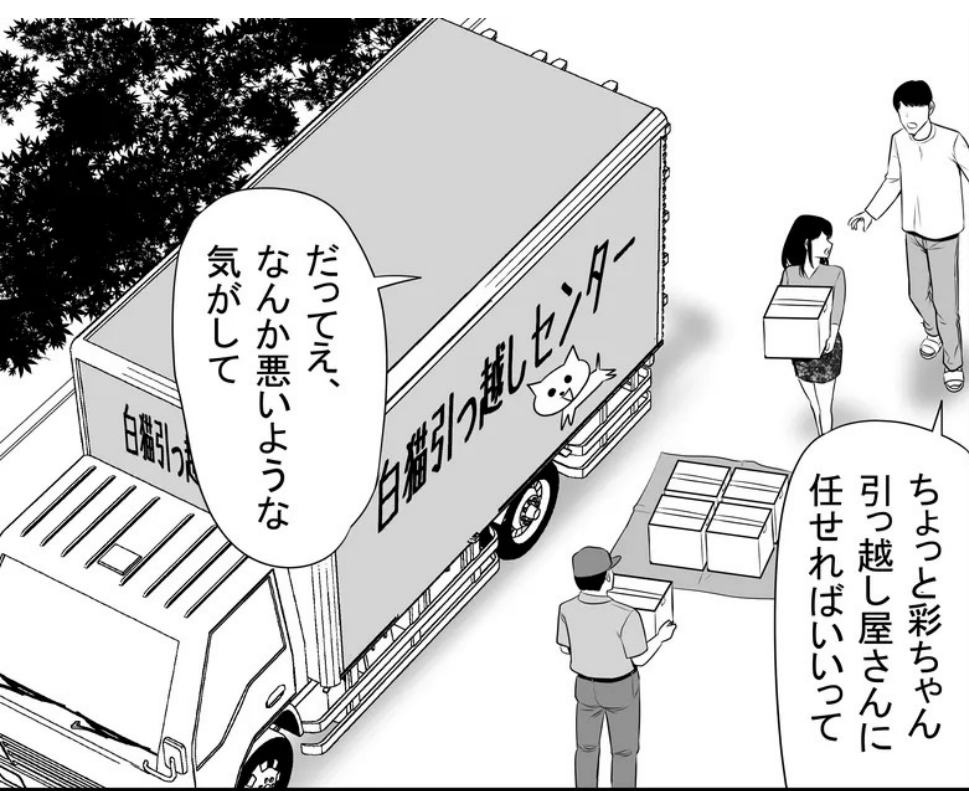


ふあ...

グアッ  
グアッ

それから夜も  
毎晩のように  
激しい情事が  
続いた

そして...



ちよつと彩ちゃん引越し屋さんに任せればいいって

